

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-26-03 号

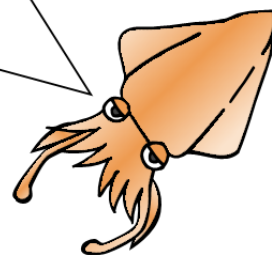
平成 26 年 8 月 7 日発行

貝毒原因プランクトンの調査を 7 月 30 日及び 8 月 7 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・下痢性貝毒の原因となるプランクトンが僅かながら確認されましたが、注意の必要な密度(50,000 個数/ℓ以上)を大きく下回る低密度でした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)		H26. 8.7	H26. 7.30
地 点 (St.)		香住	居組
水 温 (°C)		26.6	27.5
塩 分		32.6	32.4
貝類の毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痺性貝毒		
麻痺性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0
	ギムノディニウム カテナータム <i>Gymnodinium catenatum</i> (個数/ℓ)	0	0
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0
	ディノフィシス <i>Dinophysis</i> spp. (個数/ℓ)	5	0



<規制の基準>

※麻痺性貝毒:4 マウスユニット/g
下痢性貝毒:0.05 マウスユニット/g } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテネラ
Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

- ・今年度の但馬地域における貝毒調査は、本調査をもって終了です。
- ・次年度も 6～8 月に月 1 回程度の頻度で調査を実施する予定です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 西川 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・水田 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>